



発行日 平成 27 年 4 月 15 日  
発行元 三重県へき地医療支援機構  
(健康福祉部医療対策局地域医療推進課)  
電話 059-224-2326

## ～開催報告～

### 平成 26 年度 第 2 回 地域医療体験実習

日時:平成 27 年 3 月 25 日～3 月 26 日

場所:国民健康保険 名田庄診療所(福井県大飯郡大飯町)

三重県地域医療研修センター(METCH)では「地域を知る、地域に生きる人を知る、地域の医療を知る」を目的として、三重県の将来の地域医療の担い手となる医学生を対象に、年 2 回の地域医療体験実習を行っています。平成 26 年度の第 1 回実習は、12 月に揖斐郡北西部地域医療センターにて行いました。

第 2 回は「地域に寄り添う医療を感じる」をテーマに、福井県の名田庄診療所にて実習を行いました。実習には、医学生 2 名が参加しました(募集定員 2 名)。



実習では診療所での外来見学、往診への同行見学のほか、併設の総合施設で行われる多職種ケースカンファレンスにも出席させていただきました。厚い信頼で結ばれた中村先生と地域の皆様の姿に触れ、へき地での医師のあり方について大変貴重な学びを得ることができました。

本年度も 12 月、3 月に地域医療体験実習を予定しております。多くの方にご参加いただけるよう魅力的な実習を企画し、へき地の魅力、へき地医療の魅力を発信して参ります。

名田庄診療所は福井県南部(旧名田庄村)にある診療所で、保健・医療・福祉総合施設を併設し、地域に寄り添った医療・介護サービスを展開しています。また診療所長の中村伸一先生は『自宅で大往生「ええ人生やった」と言うために』、『寄りそ医 支えあう住民と医師の物語』等の著者としても知られ、『プロフェッショナル仕事の流儀』など多数のテレビ番組にもご出演されています。



### 実習の感想(一部抜粋)

- ・へき地ならではの患者に寄り添った医療をみる事ができた。
- ・中村先生の言葉ひとつひとつが珠玉のメッセージだった。
- ・これから医師として診療していくにあたって必要な医師としての考え方を教えていただいた。
- ・「自分の工夫・気持ち次第で、ひとつの地域で働き続けることは可能で、かつ技術も磨ける」という答えを得た。

※地域医療体験実習の詳細はへき地医療支援機構 Web サイトでも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/hekiti/>

## ～開催報告～

### 平成 26 年度東海三県へき地医療研究会

日時:平成 27 年 2 月 28 日

場所:愛知県産業労働センター ウィンクあいち

愛知、岐阜、三重のへき地医療の質の向上と交流を目的として、毎年行っている研究会です。

一般講演は「地域づくり」、「地域での教育」をテーマに掲げて行われ、三重県からは、それぞれ町立南伊勢病院、三重県へき地医療支援機構が発表しました。

特別講演として、名古屋医療センター 卒後教育研修センター長 宮田 靖志氏より、「地域医療教育の秘訣 ～何をどう教えるか、その方法は?～」と題して講演がありました。

本年度は三重県で開催予定です。ぜひ、ご参加ください!

## 平成 27 年度 三重県医師修学資金 貸与者募集中!

### 三重県医師修学資金貸与制度

三重県では県内で地域医療に従事する医師の育成ならびに確保を目的に、将来県内で勤務する意思のある医学生に対して、修学資金の貸与を行っています。

医師として一定の年数を三重県内の別に定める医療機関で勤務することにより、貸与額全額の返還が免除されます。

対象者:全国の医学生の皆さん

※出身地および大学所在地を問いません

貸与金額:入学年 1,517,800 円

次年度以降 1,235,800 円

募集期間:平成 27 年 4 月 1 日～6 月 30 日

※詳細は「おいないねっと三重」に掲載しております。

<http://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/oinainet/>



## ～お知らせ～

### 平成 27 年度 へき地医療体験実習

全国のへき地医療に興味のある医学生を対象とした実習です。

日時:平成 27 年 8 月 19 日(水)～22 日(土)

### 平成 27 年度 へき地医療研修会

へき地医療に携わる医療関係者、行政関係者、住民を対象とした研修会です。どなたでもご参加いただけます。

日時:平成 27 年 8 月 22 日(土)～23 日(日)

開催場所:宮川林業総合センター(大台町)

※詳細は 6 月頃、へき地医療支援機構 Web サイトで公開予定です。

<http://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/hekiti/>

## 三重県へき地医療支援機構 専任担当官が交代しました。

このたび専任担当官に着任いたしました古里 綾佳(ふるさと あやか)と申します。平成 21 年に自治医科大学を卒業後、済生会松阪総合病院での初期研修を終え、県立志摩病院、町立南伊勢病院に勤務しました。その後、1 年間の育児休暇を経て、本年度はへき地医療支援機構のお仕事をさせていただくことになりました。現場の医療者として、子を持つ親として、そして医療行政に携わる者として、様々な目線で「へき地医療」を見つめ、考えていきたいと思っております。

へき地の住民の皆様が安心して暮らせるよう、へき地医療に携わる皆様が安心して働き続けられるよう、微力ながら取り組んで参ります。何かと至らぬ点もあろうかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

### 三重県へき地医療支援機構

国のへき地保健医療対策に基づき、平成 15 年度より三重県健康福祉部に設置されました。へき地での診療経験を有する医師が専任担当官として配置されています。